

2019年度社会情報教育研究センター研究活動等報告

■ 政府統計部会 部会別研究活動等

1. 研究論文・著書

著書名：『日本の公的統計・統計調査』

発行機関：立教大学社会情報教育研究センター

発行年月：2019年10月

著者氏名：櫻本 健・濱本 真一・西林 勝吾

共著区分：共著

■ 櫻本 健 准教授

1. 学会発表

日時：2019年4月6日

学会名等：国際価値論研究会

場所：立教大学池袋キャンパス12号館

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「デジタルエコノミーの伸張による GDP に対する影響～地理的 GDP とアメリカでの研究を受けて」

日時：2019年9月6日

学会名等：経済統計学会第63回全国研究大会

場所：東北学院大学土桶キャンパスホーイ記念館3階

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「2030年代に日本版インボイス制度によって SNA を改良できる技術的余地」

日時：2020年1月11日

学会名等：経済統計学会東北・関東支部例会

場所：立教大学池袋キャンパス12号館

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「多国籍企業の節税フレームを統計で捕捉する選択肢」

2. 研究論文・著書

著書名：『供給使用表と投入産出表に関するハンドブック（拡張と応用を含む）』（国際連合経済社会局統計部著の翻訳公表物。原典は次の通り。United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Statistics Division, Editor Sanjiv Mahajan (2017) “The Handbook on Supply, Use and Input-Output Tables with Extensions and Applications”, https://unstats.un.org/unsd/nationalaccount/docs/SUT_IOT_HB_wc.pdf)

発行機関：発行せず、内閣府経済社会総合研究所「供給使用表と投入産出表に関するハンドブック（拡張と応用を含む）（仮訳）」ページに公表

http://www.esri.go.jp/jp/esri/gdpstat_kaizen/handbook/kariyaku.html

発行年月：2019年7月

著者：国際連合経済社会局統計部、編集者：サンジブ・マハジャン

日本語版監訳者：猪俣 哲史・櫻本 健・田原 慎二・萩野 覚・牧野 好洋

掲載種別：翻訳

共著区分：共著

著書名：「経済系のための情報活用1 Office2019 対応」

発行機関：実教出版

発行年月：2019年10月

著者氏名：櫻本 健（編著）・倉田 知秋・小澤 康裕・安藤 道人・菊地 進

掲載種別：著書

共著区分：共著

3. 依頼研修

日時：2019年6月12日,6月13日

研修名：「GDPを学ぶ」

主催：内閣府経済社会総合研究所経済研修所

場所：中央合同庁舎8号館416会議室

講師：櫻本 健

対象：内閣府職員,中央省庁職員

日時：2019年6月26日,6月27日

研修名：「国民経済計算(SNA)ステップアップ」

主催：内閣府経済社会総合研究所経済研修所

場所：中央合同庁舎8号館416会議室

講師：櫻本 健

対象：内閣府職員,中央省庁職員

日時：2019年6月24日,6月25日

研修名：総務省統計研究研修所2019年度統計専門課程「国民経済計算・県民経済計算」

主催・場所：総務省統計研究研修所

講師：櫻本 健

対象：中央省庁職員,自治体職員

日時：2019年8月27日,8月29日

研修名：総務省統計研究研修所2019年度統計専門課程「国民経済計算・県民経済計算」

主催・場所：総務省統計研究研修所

講師：櫻本 健

対象：中央省庁職員,自治体職員

日時：2019年10月11日(金),15日(火),18日(金),11月8日(金)

研修名：本科（総合課程）「国民経済計算（サテライト勘定を含む）」

主催・場所：総務省統計研究研修所

講師：櫻本 健

対象：中央省庁職員,自治体職員

4. 依頼講演

日時：2020年1月31日 午後13時00分～16時30分

講演名：令和元年度県民経済計算担当者研究会議

主催：内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部地域・特定勘定課

場所：合同庁舎8号館講堂

講師：櫻本 健

講演テーマ：「統計法改正と県民経済計算作成に及ぼす影響」

対象：内閣府経済社会総合研究所職員、自治体職員、テーマに関連した研究者

安藤道人 准教授

1. 研究論文・著書

掲載誌名：PLOS ONE, Vol 14, Issue 9

タイトル：「Mass Evacuation and Increases in Long-term Care Benefits: Lessons from the Fukushima Nuclear Disaster」

発行機関：PLOS

発行年月：2019年9月

著者氏名（共著者含）：Tomohiro Morita, Michihito Ando, Yui Ohtsu

掲載種別：論文

共著区分：共著

掲載誌名：『立教経済学研究』, Vol.73, No.1, pp.59-68,

タイトル：難病政策の社会保障化における政策形成と利用者負担——2013年度法案審議に関する考察——

発行機関：立教大学

発行年月：2019年9月7月

著者氏名（共著者含）：渡部 沙織・安藤 道人

掲載種別：論文（紀要）

共著区分：共著

掲載誌名：『弱者を生まない社会へ ベーシック・サービスの実現をめざして』第3章, pp.53-75

タイトル：社会保障と教育における自己負担改革 「必要原則に基づく総合合算制度」案の検討

発行機関：公益財団法人 連合総合生活開発研究所

発行年月：2019年3月

著者氏名（共著者含）：安藤 道人

掲載種別：論文（報告書の一章）

共著区分：単著

掲載誌名：『月刊DIO 連合総研レポート』 No.348

タイトル：中間層と福祉国家：税・社会保険料・社会保障の再分配効果の諸研究の検討

発行機関：公益財団法人 連合総合生活開発研究所

発行年月：2019年6月

著者氏名（共著者含）：安藤 道人・古市 将人

掲載種別：論文

共著区分：共著

濱本 真一 助教

1. 学会発表

日時：2019年3月7日

学会名等：数理社会学会第67回大会

場所：立命館大学

発表者：濱本 真一

発表テーマ：「合理的選択による進学格差の変動モデル——相対リスク回避と教育拡大の関係の定式化」

日時：2019年8月31日

学会名等：数理社会学会第68回大会

場所：熊本県立大学

発表者：池田 岳大・濱本 真一

発表テーマ：「職業学科の地位達成過程に関する不安定性」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：『教育社会学研究』104

タイトル：「隣接分野から見た高等教育研究への問題提起」

発行機関：日本教育社会学会

発行年月：2019年6月

著者氏名：相澤 真一・濱本 真一

掲載種別：論文（学術誌）

共著区分：共著

掲載誌名：『社会学年報』48

タイトル：「無業リスクに関する高校間格差とその趨勢——職業科トラックのセーフティネット機能の検討」

発行機関：東北社会学会

発行年月：2019年7月

著者氏名：池田 岳大・濱本 真一

掲載種別：論文（学術誌）

共著区分：共著

掲載誌名：『理論と方法』34(2)

タイトル：「合理的選択による進学格差の変動モデル：進学率と階層間格差のマイクロ・マクロリンク」

発行機関：数理社会学会

発行年月：2020年3月（予定）

著者氏名：濱本 真一

掲載種別：論文（学術誌）

共著区分：単著

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：若手研究

研究課題番号：18K13096

採択テーマ：「統計・数理モデルによる教育達成格差メカニズムの総合的解明」

研究期間：2018年4月～2021年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：濱本 真一

西林 勝吾 助教

1. 学会発表

日時：2019年6月29日

学会名等：マルサス学会第29回大会

場所：沖縄国際大学

発表者：西林 勝吾

発表テーマ：「Fabien Locher (2019) “Neo-Malthusian Environmentalism, World Fisheries Crisis, and the Global Commons, 1950-1970” について（文献紹介）」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：Journal of the History of Economic Thought

タイトル：「A.V. Kneese's Water Quality Management Research (1960s), within the History of Environmental Economics」

発行機関：History of Economics Society (HES)

発行年月：2019年9月

著者氏名：西林 勝吾

掲載種別：論文（査読付ジャーナル）

共著区分：単著

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：若手研究

研究課題番号：00758237

採択テーマ：「A.V.クネーゼを中心とした環境経済学説史研究」

研究期間：2019年4月～2023年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：西林 勝吾

■ 社会調査部会 部会別研究活動等

1. 国際会議出席

日時：2019年5月28日～31日

会議名等：IASSIST Annual Conference 2019

場所：University of New South Wales (in Sydney, Australia)

出席者：五十嵐 彰・高橋 かおり

参加目的：国際会議出席ならびに海外のデータアーカイブ先行機関視察とメタデータ国際標準「DDI」に関する先進動向の調査・聴取および「RUDA」の海外研究者への広報活動

岩間 暁子 教授

1. 研究論文・著書

掲載誌名：『リスク社会の家族変動』（田間泰子編著）

タイトル：「単独世帯の増加と『家族』のオルタナティブ」（印刷中）

発行機関：放送大学教育振興会

発行年月：2020年3月

著者氏名：岩間 暁子

掲載種別：論文

共著区分：単著

*備考) ラジオ教材も別途制作

掲載誌名：『リスク社会の家族変動』（田間泰子編著）

タイトル：「家族の多様化と貧困・社会的排除」（印刷中）

発行機関：放送大学教育振興会

発行年月：2020年3月

著者氏名：岩間 暁子
掲載種別：論文
共著区分：単著
*備考) ラジオ教材も別途制作

掲載誌名：『作業療法ジャーナル』54巻4月号
タイトル：「社会学から見た家族1」(予定)
発行機関：三輪書店
発行年月：2020年3月
著者氏名：岩間 暁子
掲載種別：論文
共著区分：単著

2. 依頼講演

日時：2019年8月7日(10:00-12:00)
講演名：East Asian Program 2019
主催：International Movement of Catholic Students
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
講師：岩間 暁子
講演テーマ：「Child Poverty and Social Exclusion in Japan」
対象：日本,韓国,香港,台湾出身の大学生を中心とした青少年

松本 康 教授

1. 招待講演

日時：2019年11月1日
会議名：International Conference: Urban Culture and Spaces of Social Empathy
主催：East Asia Sociological Association & Center for Glocal Culture and Social Empathy
場所：University of Seoul, South Korea
講師：Matsumoto, Yasushi
講演テーマ：Hyper-urbanization in Tokyo: Changing Residential Differentiation and Political Ecology

日時：2019年11月9日
会議名：2019 Urban Renewal and Social Governance International Forum
主催：Department of Sociology, Tongji University, City and Society Research Center, Chinese Society of Social Geography Professional Committee, and Fair City and City Governance Summit Team
場所：Shanghai, China
講師：Matsumoto, Yasushi
講演テーマ：Hyper-urbanization in Tokyo: Changing Residential Differentiation and

Political Ecology

2. 書評

タイトル：「吉原直樹著『都市社会学』』『日本都市社会学会年報』37：135—137

発行機関：日本都市社会学会

発行年月：2019年9月

著者氏名：松本 康

掲載種別：書評

共著区分：単著

高木 恒一 教授

1. 研究論文・著書

掲載誌名：『立命館生存学研究』3号

タイトル：「大学アーカイブズの意義と課題：立教大学共生社会研究センターの経験から」発行機関：立命館大学生存学研究所

発行年月：2019年10月

著者氏名：高木 恒一

掲載種別：論文（機関紀要）

共著区分：単著

掲載誌名：『都市政策研究』12号

タイトル：「住宅都市・集合住宅・まちづくり——東京都町田市の事例から」

発行機関：せたがや都市政策研究所

発行年月：2020年3月（予定）

著者氏名：高木 恒一

掲載種別：論文（機関紀要）

共著区分：単著

五十嵐 彰 助教

1. 学会発表

日時：2019年4月7日

学会名等：The 77th Midwest Political Science Association Annual Meeting

場所：Palmer House Hilton in Chicago

発表者：Akira Igarashi, Yoshikuni Ono

発表テーマ：「The Effects of Benefits and Threats of Immigrants on Public Opinion」

日時：2019年4月17日

学会名等：The 4th European Social Survey Conference

場所：University of Mannheim

発表者：Akira Igarashi

発表テーマ：「Compatibility of Ethnic and National Identification Under Multicultural Policies」

日時：2019年5月26日

学会名等：移民政策学会2019年度年次大会

場所：立教大学

発表者：永吉 希久子・竹ノ下 弘久・五十嵐 彰・木原 盾

発表テーマ：「外国籍者の社会階層に関する全国調査の試み」

日時：2019年8月29日

学会名等：The 115th American Political Science Association's Annual Meeting

場所：Washington, DC

発表者：五十嵐 彰・尾野 嘉邦

発表テーマ：「The Effects of Threats and Benefits of Immigrants on Public Opinion」

日時：2019年8月30日

学会名等：第68回数理社会学会

場所：熊本県立大学

発表者：五十嵐 彰・尾野 嘉邦

発表テーマ：「新自由主義と排外主義：質問紙実験による検討」

日時：2019年10月5日

学会名等：第92回日本社会学会大会

場所：東京女子大学

発表者：五十嵐 彰

発表テーマ：「移民の心理的統合—在日外国人の社会統合に関する研究 (4)」

日時：2019年11月30日

学会名等：The 23rd Experimental Social Science Conference

場所：明治学院大学

発表者：Akira Igarashi, Yoshikuni Ono

発表テーマ：「Neoliberalism and Negative Attitudes toward Immigrants」

日時：2019年12月3日

学会名等：International Symposium on New and Old Migrations and Diversities in UK and Japan

場所：早稲田大学

発表者：James Laurence, Akira Igarashi

発表テーマ：「Fear and Hoping in Japan: How Immigration Impacts Social and Cultural Life in a Lower-Diversity Society」

2. 研究論文・著書

著書名：『移民政策とは何か：日本の現実から考える』

タイトル：「移民排斥：世論はいかに正当化しているか」(pp.145－pp.165)

発行機関：人文書院

発行年月：2019年4月

著者氏名（共著者含）：高谷 幸（編）・樋口 直人・稲葉 奈々子・奥貫 妃文・榎井 縁・五十嵐 彰・永吉 希久子・森 千香子・佐藤 成基・小井土 彰宏

掲載種別：著書（書籍）

共著区分：共著

著書名：『日本人は右傾化したのか：データ分析で実像を読み解く』

タイトル：「排外主義：移民増加はその源泉となるか」(pp.94－pp.114)

発行機関：勁草書房

発行年月：2019年9月

著者氏名（共著者含）：田辺 俊介（編）・齋藤 僚介・濱田 国佑・五十嵐 彰・永吉 希久子・米田 幸弘・桑名 裕樹・伊藤 理史・阪口 祐介・松谷 満

掲載種別：著書（書籍）

共著区分：共著

掲載誌名：RIETI Discussion Paper Series

タイトル：「Neoliberalism and Negative Attitudes Toward Immigrants」

発行機関：経済産業研究所

発行年月：2019年10月

著者氏名（共著者含）：五十嵐 彰・尾野 嘉邦

掲載種別：ワーキングペーパー

共著区分：共著

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：村田学術振興財団研究助成

採択テーマ：「日本における不倫の規定要因」

研究期間：2019年8月～2020年6月

資金名称：村田学術振興財団

研究代表者名：迫田 さやか

採択補助金名：科学研究費

研究種目：研究活動スタート支援

研究課題番号：19K23254

採択テーマ：「日本におけるエスニックヒエラルキー形成過程の解明」

研究期間：2019年10月～2021年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：五十嵐 彰

高橋 かおり 助教

1. 学会発表

日時：2019年8月22日

学会等名：14th Conference of the European Sociological Association

場所：306, Geoffrey Manton, Manchester Metropolitan University

発表者：Kaori Takahashi

発表タイトル：「Building Social Capital in a Port Town Neighborhood with Contemporary Art Projects and Classical Music Concerts」

日時：2019年10月6日

学会名：第92回日本社会学会（テーマセッション12「創造性・芸術性と労働をめぐる社会学」）

場所：東京女子大学 6211 教室

発表者：高橋 かおり

発表タイトル：「文化・芸術領域における仕事——遊びと労働の両立可能性の探求」

（フォーラム企画）

日時：2019年12月21日

学会名：日本文化政策学会第13回研究大会

場所：さいたま市文化センター 展示室

発表者：竹田 恵子・高橋 かおり・山本 浩貴・喜始 宜照

企画タイトル：「アート界におけるジェンダー平等を促進する教育のあり方について」

日時：2020年3月21日

学会名：関東社会学会 第2回研究例会「ワークショップ時代の統治と社会記述」

場所：明治学院大学白金キャンパス 本館（北ウイング）1254 教室（予定）

発表者：高橋 かおり

発表テーマ：「芸術を通じた場の構築——地域に対する現代美術とクラシック音楽の試みを比較して」

2. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究課題番号：17K18464

採択テーマ：「アート協働制作による社会関係資本形成の社会的・実践的研究」

研究期間：2017年6月～2020年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：高橋 かおり

採択補助金名：科学研究費

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究課題番号：19K21731

採択テーマ：「グローバル化時代における進学・就職・転職ネットワークの社会学的解明」

研究期間：2019年6月～2022年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：相澤 真一

採択補助金名：2019年度研究助成「日独の若者文化・ライフスタイルの研究」

採択テーマ「ドイツ在住日本人芸術家のキャリア形成に関する比較研究」

研究期間：2019年4月～2020年1月

資金名称：一般財団法人 山岡記念財団

研究代表者名：高橋 かおり

3. 依頼発表

日時 2020年2月19日 13:30～18:00（予定）

講演名：若者文化シンポジウム 第4回研究成果発表会

主催：山岡記念財団

場所：京都大学 第3講義室

登壇者：林 祐一郎・富永 京子・高橋 かおり・シュテファン ヴァルター ブリュクナー・ティモ テーレン

発表テーマ「ベルリン在住日本人アーティストの活動——定住と移動のはざままで」

対象：研究者,一般

■ 統計教育部会 部会別研究活動等

1. 学会発表

日時：2019年9月9日

学会名等：2019年度統計関連学会連合大会

場所：滋賀大学

発表者：山口 誠一・山口 和範・門田 実

発表テーマ：「統計検定を利用した統計教育の改善について」

山口 和範 教授

1. 学会発表

日時：2019年8月21日

学会名等：The 62nd ISI Statistical World Congress

場所：クアラルンプール（マレーシア）国際会議場

発表者：森西 美光・山口 和範

発表テーマ：「Causal Inference in Sport Data ~Causal Model of Fly Ball Revolution in NPB」

日時：2019 年 9 月 18 日

学会名等：International Conference on Japanese Style International Business Program

場所：ハノイ（ベトナム）ハノイ貿易大学

発表者：山口 和範

発表テーマ：「Developing Future Business Leaders for Enhancing Economic Ties Between Vietnam and Japan in the Age of Artificial Intelligence」

2. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究(C)

研究課題番号：17K00059

採択テーマ：「ビッグデータ時代に求められる統計的思考力育成のための統計教育の研究」

研究期間：2017 年 4 月 ～ 2020 年 3 月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：山口 和範

3. 依頼講演

日時：2019 年 10 月 16 日 午後 2 時 00 分～4 時 00 分

講演名：日本科学技術連盟 2019 年度 月例講演会

主催：日本科学技術連盟

場所：日本科学技術連盟東高円寺ビル

講師：山口 和範

講演テーマ：「AI 時代における統計の役割と必要とされる統計的考え方」

対象：一般

日時：2019 年 11 月 1 日 午後 1 時 40 分～3 時 50 分

講演名：統計教育講演会

主催：佐賀県

場所：佐賀商業高校体育館

講師：山口 和範

講演テーマ：「統計的に考えるってどういうこと」

対象：1 年生，2 年生，および教員

都築 誉史 教授

1. 学会発表

日時：2019年8月21日

学会名等：Subjective Probability, Utility, and Decision Making (SPUDM) 2019 (The European Association for Decision Making)

場所：オランダ，アムステルダム，アムステルダム大学

発表者：都築 誉史・千葉 元気

発表テーマ：「A Time-Series Saccades Analysis of the Attraction and Compromise Effects Based on the Final Decision in Multi-Alternative Decision Making」

日時：2019年7月19日

学会名等：Annual Conference of the European Association of Psychology and Law (EAPL) 2019

場所：スペイン，サンティアゴ・デ・コンポステーラ

発表者：島根 大輔・都築 誉史・伊東 裕司

発表テーマ：「Awareness of Emotional Stimuli in a Video: Suppressed Memory of the Video」

2. 研究論文

掲載誌名：Frontiers in Psychology

タイトル：「Effortful Processing Reduces the Attraction Effect in Multi-Alternative Decision Making: An Electrophysiological Study Using a Task-Irrelevant Probe Technique」

発行機関：Frontiers Media SA

発行年月：2019年4月

著者氏名：都築 誉史・武田 裕司・千葉 元気

掲載種別：Original Research Article（査読有り）

共著区分：The First Author

3. 著書

掲載誌名：児童心理学の進歩 2020年版（Vol. 59）

タイトル：判断と意思決定

発行機関：金子書房（日本児童研究所・監修）

発行年月：2020年6月（予定，印刷中）

著者氏名：都築 誉史

掲載種別：展望論文（査読有り）

共著区分：単著（分担執筆）

山口 誠一 助教

1. 学会発表

日時：2020年3月12日－14日

学会名等：32nd International Conference on Technology in Collegiate Mathematics

場所：Orlando, FL, USA

発表者：Satoru Takagi, Kesayoshi Hadano, Sei-ichi Yamaguchi

発表テーマ：「Educational Materials on Calculus Which Bridge Mathematics and

Engineering]

2. 依頼研修

日時：2019年5月8日, 15日, 22日, 29日, 6月5日, 12日 18時15分～19時45分, 19時55分～21時25分

講演名：統計検定2級資格取得講座

主催：東洋大学経営学部

場所：東洋大学白山キャンパス 3301教室

講師：山口 誠一

講演テーマ：第1回～第6回

対象：JINSE版統計検定に受験申込みを行った東洋大学の学生

日時：2019年10月3日, 10日, 24日 午後6時10分～8時10分

講演名：統計検定2級試験対策講座（第2回, 第3回, 第5回）

主催：東洋大学理工学部

場所：東洋大学川越キャンパス 521教室

講師：山口 誠一

講演テーマ：「記述統計（第2回）」, 「確率変数（第3回）」, 「推測統計（推定）（第5回）」

対象：JINSE版統計検定に受験申込みを行った東洋大学理工学部の学生

日時：2019年10月8日, 15日, 22日, 29日, 11月12日, 19日 18時15分～19時45分, 19時55分～21時25分

講演名：統計検定対策講座

主催：東洋大学経営学部

場所：東洋大学白山キャンパス 3404教室

講師：山口 誠一

講演テーマ：第1回～第6回

対象：JINSE版統計検定に受験申込みを行った東洋大学の学生

門田 実 助教

1. 依頼研修

日時：2019年8月27日～2019年8月29日

研修名：データ分析研修

主催：北海道大学海洋生物資源学部海洋資源科学科

場所：北海道大学

講師：門田 実

対象：北海道大学海洋生物資源学部海洋資源科学科

2. 依頼講演

日時：2019年11月21日 午後6時00分～7時30分

講演名：サルでもわかる最先端データ分析のミライ学

主催：四万十町役場人材育成推進センター

場所：古民家カフェ「半平」

講師：門田 実

講演テーマ：「2016年度の経営環境と情勢に負けない企業づくり」

対象：AIに興味のある方,データ分析に興味のある方

加藤 倫子 教育研究コーディネーター

1. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：若手研究

研究課題番号：19K13951

採択テーマ：「構造的排除への支援・介入が「犯罪や非行からの離脱」に与える影響」

研究期間：2019年4月～2023年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：加藤 倫子

2. 依頼研修

日時：①2019年5月8日 午後1時10分～午後3時

②2019年5月15日 午後1時10分～午後3時

研修名：個人探求・RQを考えよう

主催：豊島岡女子学園高等学校

場所：豊島岡女子学園高等学校

講師：加藤 倫子

研修テーマ：『『犯罪から立ち直る』とはどのようなことか』

対象：豊島岡女子学園高等学校2年生